Welby Lunch Session 32th

医療ジャーニーにおける新たな課題解決アプローチと対面・オンライン双方を繋ぐPHRソリューションへの期待効果



田口 健太 氏

KDDI株式会社
パーソナルグロース事業本部 サービス開発本部
シニアエキスパート｜PHRサービス事業協会 会計監事
一橋大学非常勤講師
パームヘルスケア株式会社
社長補佐



井口 健太郎

株式会社Welby
セールス＆ビジネスクリエイティング部
アカウントセールス 担当部長

データ駆動型社会が現実のものとなりつつある今、PHR（*Personal Health Record* ）は、単なるライフログの蓄積にとどまらず、患者中心医療を社会に定着させていくための重要な基盤として位置づけられています。医療データやライフログ、マイナポータル等の情報を生活者自身が主体的に扱う時代において、PHRをどのように活用し、患者中心医療をいかに進め、継続していくのかは、医療・ヘルスケアに関わるすべての関係者にとって重要なテーマです。

*Welby Lunch Session*は、こうした問いに向き合うために継続的な知の発信源として、過去2年間で計22回開催してきました。医療・ヘルスケア領域の第一線で活躍する登壇者とともに、PHRと患者中心医療を実践へと進めるための考え方やプロセス、体制、価値観を共有してきました。知見や論点をアップデートし続けるシリーズとして、理念にとどめず、現場での実装につなげるための視点をお届けします。

デジタル社会が進展し、医療DXによる医療データ連携が進む中、医療・健診データを患者自身が保持・活用する未来も近づいています。そんな中、患者それぞれの診療スタイルも個別化することが予想され、自身の生活スタイルに合った診療や薬剤処方において対面・オンラインを使い分ける新たな医療ジャーニーが重要になると考えられています。
第32回では、個別化される患者それぞれの医療ジャーニーにおいて、対面とオンライン双方をデータでつなぐPHRの役割・価値、新たな疾患啓発から疾患理解、そして疾患管理までを一気通貫で提供する新たなアプローチ・ソリューションへの期待効果について紹介いたします。

日　時　**2026年 11月 25日（水）**
12:05 ～ 12:55

場　所　**ZOOM開催**

参加費　**無料**

※申込締切：2026年 11月 24日（火）17:00まで

お申込みは**下記の二次元コード**を
クリックまたは**読み取り**ください

主催：株式会社Welby